

千葉県看護協会 「令和3年度 看護職定着確保動向調査（統括保健師）」結果

令和2年度の保健師の離職率は市町村保健師4.8%、県保健師5.8%で、市町村では定年退職以外の退職者が定年退職者の3.4倍であった。

調査の概要

目的	県および市町村の保健師の離職状況や教育体制等を把握し、定着確保対策の資料とする。
対象	県および54市町村の統括保健師 55人
方法	調査期間：令和3年10月25日～11月5日 調査票を送付し返信用封筒により回収。
回収状況	県1人、市町村41人の統括保健師計42人から回収 回収率76.4%

調査結果のポイント

1. 回答者の属性

○回答のあった41市町村を人口規模別に見ると1万人～5万人未満が31.7%と最も多く、次いで5万人～10万人未満22.0%、10万人～15万人未満9.8%の順であった。

表1 市町村の人口規模別回収数

人口規模	回収数	割合	人口規模	回収数	割合
1万人未満	3	7.3	30万人～35万人	0	0
1万人～5万人未満	13	31.7	35万人～40万人未満	0	0
5万人～10万人未満	9	22.0	40万人～45万人未満	1	2.4
10万人～15万人未満	4	9.8	45万人～50万人未満	2	4.9
15万人～20万人未満	3	7.3	50万人以上	2	4.9
20万人～25万人未満	2	4.9	不明（市町村名未記入）	1	2.4
25万人～30人未満	1	2.4	合計	41	100.0

2. 令和2年4月1日現在、令和3年4月1日現在の保健師職員数

○令和2年4月1日現在の県職保健師数は172人、41市町村の合計は1,114人で、令和3年4月1日現在の県職保健師数は186人、41市町村の合計は1,144人であった。令和3年度は2年度に比べ、県は14人、市町村は30人の増員となっている。

○市町村保健師の令和2年度から3年度の増減は、増加が16市町村、減少が10市町村、増減なしが15市町村であった。減少している10市町村の減少人数は、1人が8市町村、2人・3人がそれぞれ1市町村であった。

表2 令和2年度、令和3年度の保健師数及び増減

年度	県職保健師数(人)	市町村保健師数(人)	合計(人)
令和2年度	172	1,114	1,286
令和3年度	186	1,144	1,330
増減	14	30	44

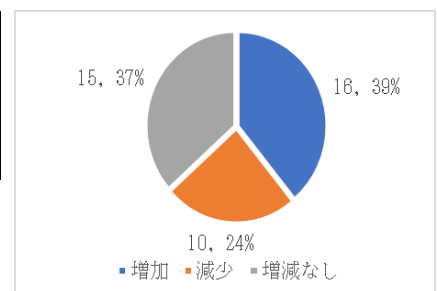


図1 市町村保健師の増減状況

3. 保健師の離職率と退職理由

○令和2年度に新規採用者を除く退職者があったのは28市町村（68.1%）53人、離職率は4.8%であった。退職者の内訳は、定年退職者が12人、定年退職以外が41人と、定年退職以外の退職が77%を占め、定年退職者の3.4倍であった。

県の退職者は10人、離職率は5.8%で市町村保健師より高かった。退職者の内訳は定年退職と定年退職以外が同数であった。

表3 令和2年4月1日～令和3年3月31日までの退職者の状況

	あり	割合 (%)	なし	割合 (%)	退職者人数 (人)	離職率 (%) ※
市町村	28	68.3	13	31.7	53	4.8
県	1	100.0	—	—	10	5.8

○定年退職以外の退職者の退職理由で最も多かったのは「転職・進学」次に「メンタルヘルス不調」であった。

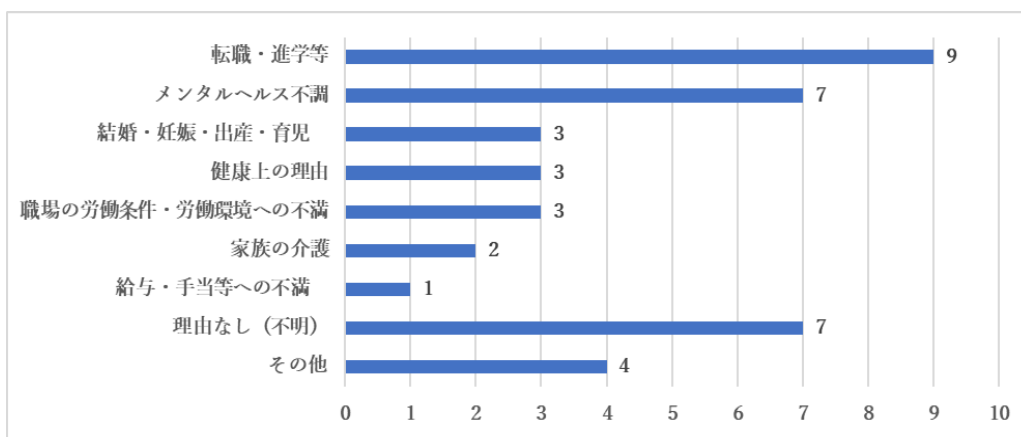


図2 定年退職以外の退職者の退職理由（複数回答）：人

4. 保健師の現任教育体制

○教育責任者は、「配置されている」22市町村（53.7%）、「配置されていない」19市町村（46.3%）で、県は配置されている。

○教育研修担当者は、「配置されている」25市町村（61.0%）、「配置されていない」16市町村（39.0%）で、県は配置されている。

○教育研修体制について実施しているものは、「外部研修の活用」41（97.6%）、次いで「内部研修の実施」26（61.9%）であった。自治体独自の個別の研修プログラムの作成やキャリアラダーに沿った研修計画の立案はほとんど行われていない。

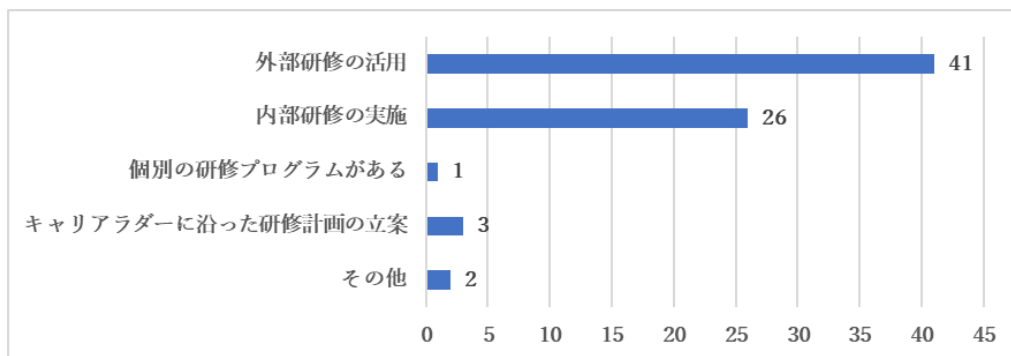


図3 教育研修体制について実施しているもの（複数回答）

5. メンタルヘルス相談体制

○メンタルヘルスに対する相談窓口の設置状況は、33 市町村（80.5%）と県で設置されている。

表4 メンタルヘルスに対する相談窓口の設置状況

	設置あり	割合 (%)	設置なし	割合 (%)
市町村	33	80.5	8	19.5
県	1	100.0	—	—

6. 保健師の定着・確保に関する課題

○保健師の定着に関する課題と思われる項目については、「計画的な人材育成」が28（66.7%）と最も多く、次いで「労働時間」・「職場内の人間関係」（50.0%）であった。

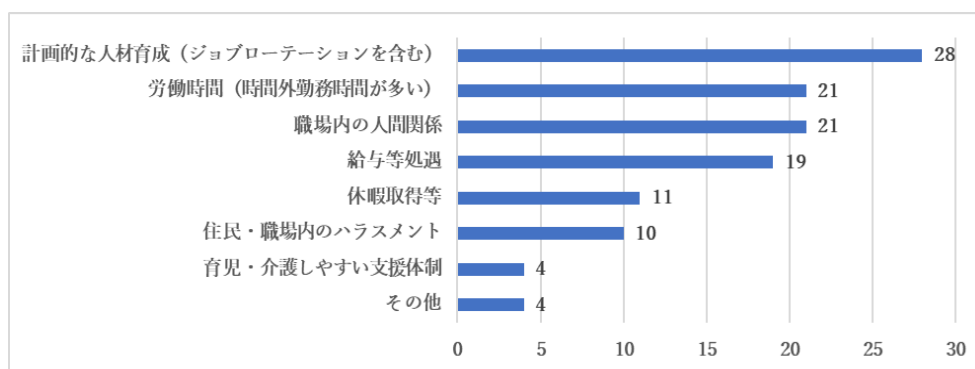


図4 保健師の定着に関する課題（複数回答）

○保健師の確保に関する課題と思われる項目については、「計画的に採用できない」・「募集しても応募がない」がいずれも27自治体（64.3%）で一番多かった。

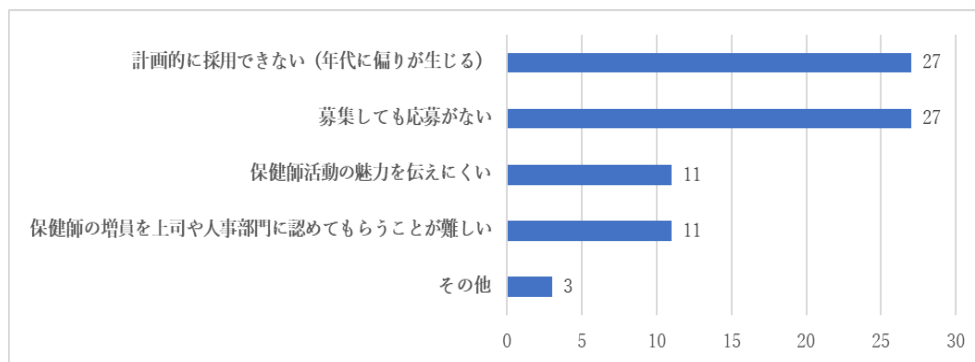


図5 保健師の確保に関する課題（複数回答）

○看護協会が実施する生涯教育研修への要望は、市町村24（58.5%）および県からあり、その内容は「オンライン研修を増やしてほしい」15（62.5%）「保健師を対象としたキャリアラダーに沿った研修を増やしてほしい」14（58.3%）であった。

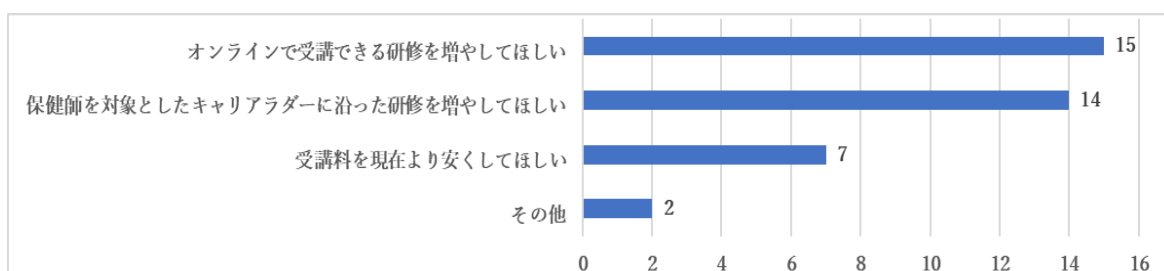


図6 看護協会が実施する生涯教育研修への要望（複数回答）